



Internet Initiative Japan



IIJ INNOVATION INSTITUTE

## IIJ GROUP PRESS RELEASE

2013年10月10日

株式会社インターネットイニシアティブ

株式会社 IIJ イノベーションインスティテュート

### IIJ グループのコンテナ型データセンターが ソフトウェアで制御するモジュールに進化

株式会社インターネットイニシアティブ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部、以下 IIJ)と IIJ グループの R&D センターである株式会社 IIJ イノベーションインスティテュート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:浅羽 登志也、以下 IIJ-II)は、データセンターファシリティを包含したクラウドサービス基盤をソフトウェアで一体的に制御できるコンテナ型データセンターモジュール「co-IZmoSD(コイズモエスディー)」の開発を共同で開始いたします(別紙 図 1)。

クラウドサービスの普及により、データセンター事業者は、大規模なシステムを効率良く、高い可用性を維持しながら運用することが要求されています。それに応える形で、サーバやネットワークによって構成されるクラウドサービス基盤は、仮想化技術による柔軟な構成や制御が実現されつつあります。

今回、IIJとIIJ-IIが共同で開発する co-IZmoSD は、2013年4月に実証実験を開始した小型コンテナ型データセンターモジュール「co-IZmo(コイズモ)」(※1)をさらに改良し、データセンター内部の空調設備、電源設備などのファシリティをソフトウェアで制御できる環境を目指しています。クラウド基盤を収容するデータセンターとして co-IZmoSD を利用することで、サーバ、ネットワーク、ファシリティを一体的かつ柔軟に制御することが可能になります(別紙 図 2)。クラウドサービス基盤に要求されるリクエストに応じて、稼働するシステムの規模を動的に制御することで、エネルギー利用効率の向上と運用コストの低減を実現します(別紙 図 3)。さらに、ソフトウェアによる一管理体制により、外部環境の変動に応じて仮想サーバの稼働地域を変更することが可能となり、太陽光発電など不安定な自然エネルギーの効率的な利用が見込めます(別紙 図 4)。

IIJ は主にデータセンターモジュールの開発、IIJ-II はソフトウェアの開発を担当いたします。

なお本開発は、経済産業省の平成 25 年度「産業技術実用化開発事業費補助金(ソフトウェア制御型クラウドシステム技術開発プロジェクト)」を受けて実施いたします。

(※1) co-IZmo については、2013年4月8日付の報道発表資料をご参照ください。

<http://www.iij.ad.jp/news/pressrelease/2013/0408.html>

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 小河、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: [press@iij.ad.jp](mailto:press@iij.ad.jp) URL: <http://www.iij.ad.jp/>

【別紙】

図1 co-IZmoSD 外観イメージ図



図2 データセンターの抽象化

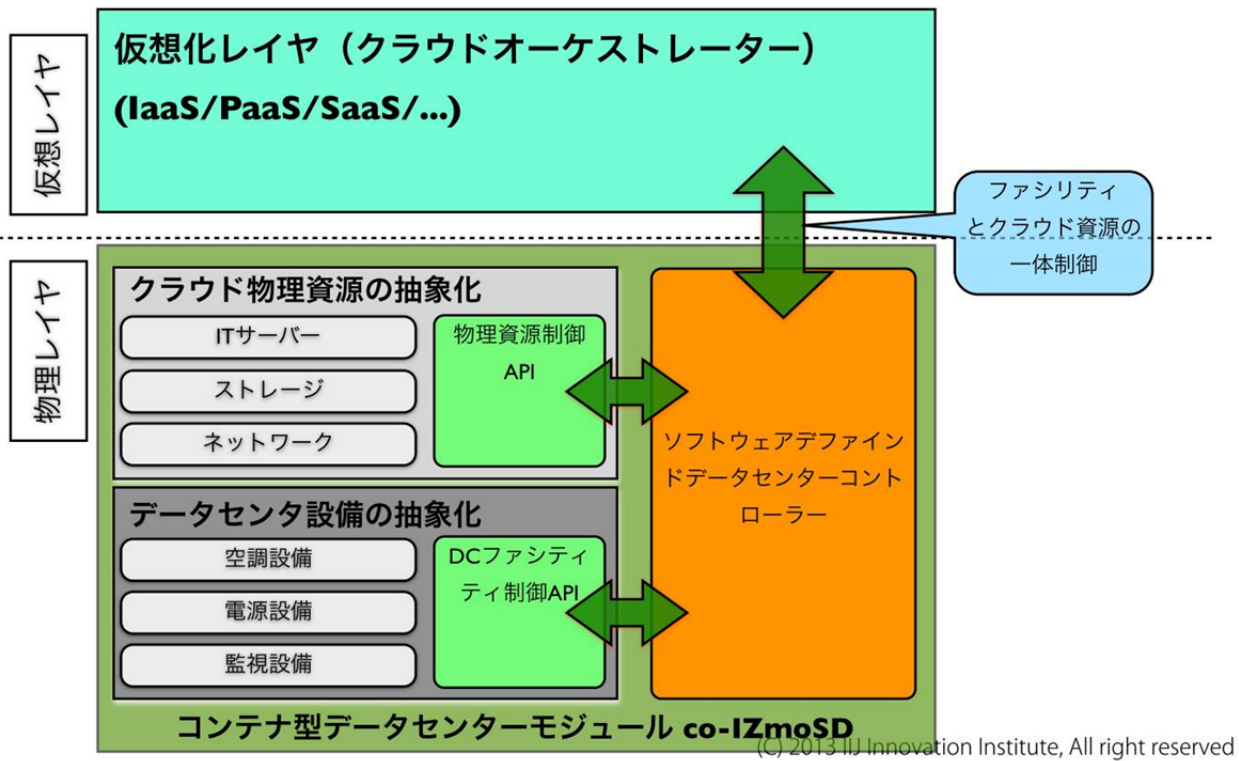


図3 クラウドサービス基盤の一体的制御

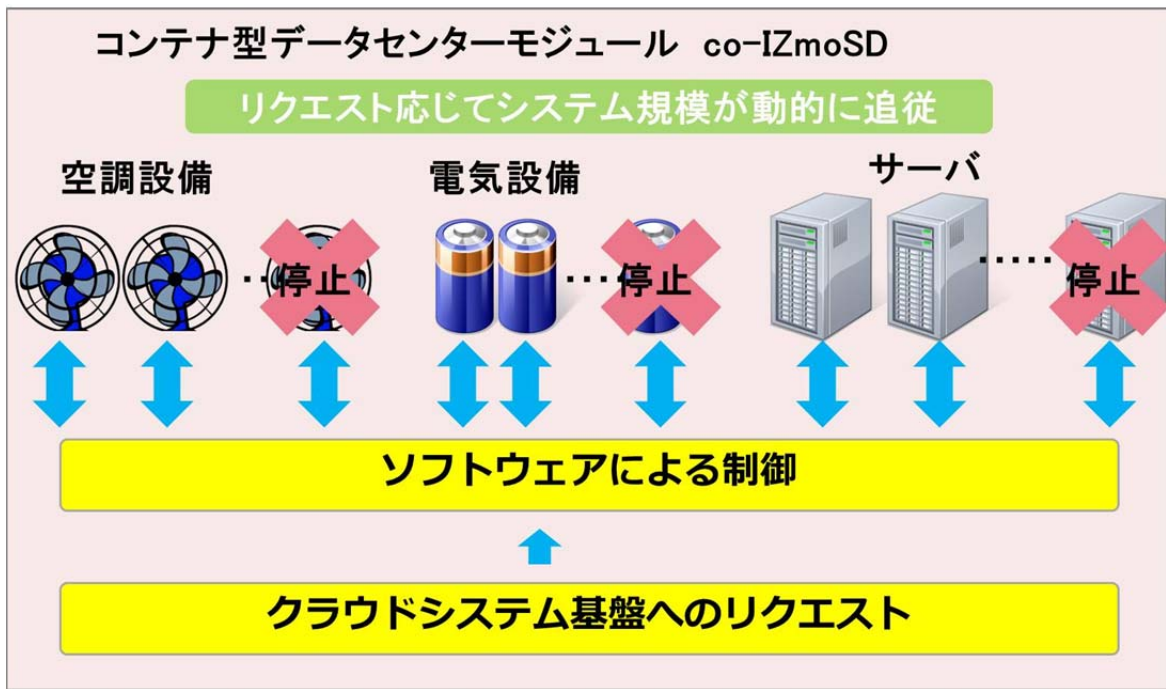


図4 広域サーバ移動

